

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年12月26日  
Date of Application:

出願番号 特願2002-377292  
Application Number:

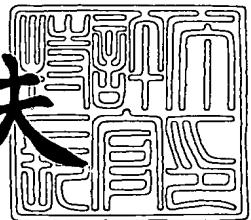
[ST. 10/C] : [JP2002-377292]

出願人 セイコーエプソン株式会社  
Applicant(s):

2003年10月27日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願  
【整理番号】 J0096214  
【提出日】 平成14年12月26日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 H04N 1/40  
【発明者】  
【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーホームズ株式会社内  
【氏名】 澤田 宗徳  
【特許出願人】  
【識別番号】 000002369  
【氏名又は名称】 セイコーホームズ株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100066980  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 森 哲也  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100075579  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 内藤 嘉昭  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100103850  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 崔 秀▲てつ▼  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 001638  
【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0014966

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 リライタブルペーパーのパッケージングシステム、販売方法  
およびリライタブルペーパー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 リライタブルペーパーを所定形態に梱包するためのパッケージングシステムであって、

梱包対象となるリライタブルペーパーの所定枚数を 1 組として供給するペーパー供給手段と、

前記 1 組のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを付加するコンテンツ付加手段と、

前記コンテンツが付加された状態の前記 1 組のリライタブルペーパーを販売のための所定形態に梱包する梱包手段と、

を含むことを特徴とするパッケージングシステム。

【請求項 2】 前記コンテンツ付加手段は、前記 1 組のリライタブルペーパーにおいて、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを付加し、

前記梱包手段は、該一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが付加されていることを外部から視認可能な所定形態に梱包することを特徴とする請求項 1 記載のパッケージングシステム。

【請求項 3】 前記コンテンツ付加手段は、少なくとも最前部を含む所定のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを付加し、

前記梱包手段は、最前部のコンテンツを外部から視認可能な所定形態に梱包することを特徴とする請求項 1 または 2 記載のパッケージングシステム。

【請求項 4】 前記コンテンツ付加手段は、前記ペーパー供給手段から供給された 1 組のリライタブルペーパーのうち、所定のリライタブルペーパーに、前記所定のコンテンツを印刷することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のパッケージングシステム。

【請求項 5】 前記コンテンツ付加手段は、前記所定のコンテンツが印刷されたリライタブルペーパーを、前記 1 組のリライタブルペーパーの所定位置に挿

入することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のパッケージングシステム。

**【請求項6】** 前記コンテンツ付加手段は、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に直接的に関連する関連情報を付加することを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載のパッケージングシステム。

**【請求項7】** 前記コンテンツ付加手段は、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に付加的価値となる付加価値情報を付加することを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載のパッケージングシステム。

**【請求項8】** 前記コンテンツ付加手段によって付加するためのコンテンツを供給するコンテンツ供給手段をさらに備え、前記コンテンツ付加手段が付加するコンテンツを、前記コンテンツ供給手段によって供給された、異なるコンテンツに変更可能であることを特徴とする請求項1～7のいずれかに記載のパッケージングシステム。

**【請求項9】** 前記コンテンツ付加手段によって付加するコンテンツを指定するためのコンテンツ指定手段をさらに備えることを特徴とする請求項1～8のいずれかに記載のパッケージングシステム。

**【請求項10】** リライタブルペーパーを商品として販売するための販売方法であって、

販売されるリライタブルペーパーに、販売初期状態において所定のコンテンツを印刷しておき、

使用時には該コンテンツを消去可能であることを特徴とするリライタブルペーパーの販売方法。

**【請求項11】** 前記リライタブルペーパーは、所定枚数を1組として販売され、該1組のリライタブルペーパーにおいて、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを印刷しておき、該一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが印刷されていることを外部から視認可能な所定形態に梱包して販売することを特徴とする請求項10記載のリライタブルペーパーの販売方法。

**【請求項12】** 前記1組のリライタブルペーパーの少なくとも最前部を含

む所定のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを印刷しておき、最前部のコンテンツを外部から視認可能な所定形態に梱包して販売することを特徴とする請求項10記載のリライタブルペーパーの販売方法。

【請求項13】 前記所定のコンテンツは、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に直接的に関連する関連情報であることを特徴とする請求項10～12のいずれかに記載のリライタブルペーパーの販売方法。

【請求項14】 前記所定のコンテンツは、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に付加的価値となる付加価値情報であることを特徴とする請求項10～12のいずれかに記載のリライタブルペーパーの販売方法。

【請求項15】 リライタブルペーパーの購入者が印刷を希望する前記所定のコンテンツの指定を受け付け、指定されたコンテンツを印刷して販売することを特徴とする請求項10～14のいずれかに記載のリライタブルペーパーの販売方法。

【請求項16】 購入者に販売される形態とされたリライタブルペーパーであって、

販売初期状態において所定のコンテンツが印刷され、購入者が使用する際に、該コンテンツを消去可能であることを特徴とするリライタブルペーパー。

【請求項17】 販売時に所定枚数を1組とされ、該1組のリライタブルペーパーにおいて、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが印刷され、該一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが印刷されていることが外部から視認可能な所定形態に梱包されていることを特徴とする請求項16記載のリライタブルペーパー。

【請求項18】 前記1組のリライタブルペーパーの最前部に前記所定のコンテンツを印刷し、該コンテンツが外部から視認可能な所定形態に梱包されていることを特徴とする請求項16または17記載のリライタブルペーパー。

【請求項19】 前記所定のコンテンツは、リライタブルペーパーが商品として販売される際に直接的に関連する関連情報であることを特徴とする請求項16～18のいずれかに記載のリライタブルペーパー。

【請求項20】 前記所定のコンテンツは、前記リライタブルペーパーが商

品として販売される際に付加的価値となる付加価値情報であることを特徴とする請求項16～18のいずれかに記載のリライタブルペーパー。

### 【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

##### 【発明の属する技術分野】

本発明は、印刷された情報を書き換え可能なリライタブルペーパーのパッケージングシステム、販売方法およびリライタブルペーパーに関する。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

近年、温度や光、もしくは化学反応を利用する事で、発色状態と非発色状態とを可逆的に変化させることができるリライタブルペーパーが注目されている。例えば、異なる温度に加熱することによって、発色状態と非発色状態とを可逆的に変化させることができるリライタブルペーパーとしては、特開平5-032045号公報を始め、種々の文献が紹介されている。

#### 【0003】

リライタブルペーパーは、一度印刷した情報を、必要に応じて書き換えることが可能であるため、通常のプリンタ用紙等、書き換えが不可能な紙媒体と比べ、種々の利点を有する。

#### 【0004】

##### 【特許文献1】

特開平5-032045号公報

#### 【0005】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、リライタブルペーパーについて、現在注目を集めている利点は、リライタブルペーパーの使用時、即ち、ユーザが印刷を行う際の利点にほぼ限られている。

一方、リライタブルペーパーは、一度印刷された情報の書き換えが可能であることから、販売時においても従来の紙媒体とは異なる販売形態とすることが可能である。

**【0006】**

本発明の課題は、リライタブルペーパーの販売において、その特長を効果的に活用することである。

**【0007】****【課題を解決するための手段】**

以上の課題を解決するため、本発明は、

リライタブルペーパーを所定形態に梱包するためのパッケージングシステムであって、梱包対象となるリライタブルペーパーの所定枚数（1枚あるいは複数枚）を1組として供給するペーパー供給手段（例えば、図1のペーパー供給部10）と、前記1組のリライタブルペーパーに所定のコンテンツ（例えば、商品の使用説明書、カレンダー等、目的に応じた種々のもの）を付加するコンテンツ付加手段（例えば、図1のコンテンツ印刷部20）と、前記コンテンツが付加された状態の前記1組のリライタブルペーパーを販売のための所定形態に梱包する梱包手段（例えば、図1の梱包部30）とを含むことを特徴としている。

また、前記コンテンツ付加手段は、前記1組のリライタブルペーパーにおいて、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを付加し、前記梱包手段は、該一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが付加されていることを外部から視認可能な所定形態に梱包することを特徴としている。

**【0008】**

ここで、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが付加されていることを外部から視認可能であることには、付加されているコンテンツ 자체を外部から視認できる場合およびコンテンツが付加されている旨が外部から視認できる場合のいずれをも含むものである。

また、前記コンテンツ付加手段は、少なくとも最前部（即ち、印刷面が表れるリライタブルペーパー）を含む所定のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを付加し、前記梱包手段は、最前部のコンテンツを外部から視認可能な所定形態に梱包することを特徴としている。

**【0009】**

また、前記コンテンツ付加手段は、前記ペーパー供給手段から供給された1組のリライタブルペーパーのうち、所定のリライタブルペーパーに、前記所定のコンテンツを印刷することを特徴としている。

また、前記コンテンツ付加手段は、前記所定のコンテンツが印刷されたリライタブルペーパーを、前記1組のリライタブルペーパーの所定位置に挿入することを特徴としている。

#### 【0010】

また、前記コンテンツ付加手段は、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に直接的に関連する関連情報（例えば、商品の使用方法、商品に関する説明、ユーザの使用所感等）を付加することを特徴としている。

また、前記コンテンツ付加手段は、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に付加的価値となる付加価値情報（例えば、リライタブルペーパーと無関係な商品あるいはリライタブルペーパーの関連商品の広告、漫画や小説の始まり部分等、書籍の一部、占い、クイズ、川柳、料理のレシピ等）を付加することを特徴としている。

#### 【0011】

また、前記コンテンツ付加手段によって付加するためのコンテンツを供給するコンテンツ供給手段（例えば、図4のコンテンツサーバ40）をさらに備え、前記コンテンツ付加手段が付加するコンテンツを、前記コンテンツ供給手段によって供給された、異なるコンテンツに変更可能であることを特徴としている。

また、前記コンテンツ付加手段によって付加するコンテンツを指定するためのコンテンツ指定手段（例えば、図4に示すコンテンツサーバ40と接続された端末装置）をさらに備えることを特徴としている。

#### 【0012】

また、本発明は、

リライタブルペーパーを商品として販売するための販売方法であって、販売されるリライタブルペーパーに、販売初期状態（即ち、販売店および最終消費者を含む購入者に販売される時点の状態）において所定のコンテンツを印刷しておき、使用時には該コンテンツを消去可能であることを特徴としている。

**【0013】**

また、前記リライタブルペーパーは、所定枚数を1組として販売され、該1組のリライタブルペーパーにおいて、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを印刷しておき、該一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが印刷されていることを外部から視認可能な所定形態に梱包して販売することを特徴としている。

**【0014】**

また、前記1組のリライタブルペーパーの少なくとも最前部を含む所定のリライタブルペーパーに所定のコンテンツを印刷しておき、最前部のコンテンツを外部から視認可能な所定形態に梱包して販売することを特徴としている。

また、前記所定のコンテンツは、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に直接的に関連する関連情報であることを特徴としている。

**【0015】**

また、前記所定のコンテンツは、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に付加的価値となる付加価値情報であることを特徴としている。

また、リライタブルペーパーの購入者が印刷を希望する前記所定のコンテンツの指定を受け付け、指定されたコンテンツを印刷して販売することを特徴としている。

**【0016】**

また、本発明は、

購入者に販売される形態とされたリライタブルペーパーであって、販売初期状態において所定のコンテンツが印刷され、購入者が使用する際に、該コンテンツを消去可能であることを特徴としている。

また、販売時に所定枚数を1組とされ、該1組のリライタブルペーパーにおいて、一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが印刷され、該一部または全部のリライタブルペーパーに所定のコンテンツが印刷されていることが外部から視認可能な所定形態に梱包されていることを特徴としている。

**【0017】**

また、前記1組のリライタブルペーパーの最前部に前記所定のコンテンツを印

刷し、該コンテンツが外部から視認可能な所定形態に梱包されていることを特徴としている。

また、前記所定のコンテンツは、リライタブルペーパーが商品として販売される際に直接的に関連する関連情報であることを特徴としている。

#### 【0018】

また、前記所定のコンテンツは、前記リライタブルペーパーが商品として販売される際に付加的価値となる付加価値情報であることを特徴としている。

本発明によれば、販売される形態における1組のリライタブルペーパーに、所定のコンテンツを付加して梱包する。

そして、購入者がそのリライタブルペーパーを使用する際には、リライタブルペーパーの特長である書き換えによって、自らの目的とする情報を何等支障なく印刷可能である。

#### 【0019】

したがって、リライタブルペーパーを販売する際に販売者が購入者に提示したい情報を、別紙や包装等に印刷して提示する必要がないため、省資源化を図ることが可能であるとともに、リライタブルペーパーの特長を効果的に活用して、新たな販売形態を提供することが可能である。

#### 【0020】

##### 【発明の実施の形態】

以下、図を参照して本発明に係るパッケージングシステムの実施の形態を説明する。

まず、構成を説明する。

図1は、本実施の形態に係るパッケージングシステム1の構成を示すブロック図である。

#### 【0021】

図1において、パッケージングシステム1は、ペーパー供給部10と、コンテンツ印刷部20と、梱包部30とを含んで構成される。なお、パッケージングシステム1は、梱包されるリライタブルペーパーが、ペーパー供給部10からコンテンツ印刷部20を介して梱包部30まで、ベルトコンベア等の搬送機構によつ

て搬送される構成である。

#### 【0022】

ペーパー供給部10は、製品となるリライタブルペーパーを梱包前の状態で貯えており、パッケージングの単位となる所定枚数のリライタブルペーパー（以下、「ペーパー束」と言う。）をコンテンツ印刷部20に順次受け渡す。

コンテンツ印刷部20は、ペーパー供給部10から受け取った所定枚数のリライタブルペーパーにおいて、最前部にあるもの（印刷面が表れているリライタブルペーパー）に所定のコンテンツを印刷する。

#### 【0023】

ここで、コンテンツ印刷部20が印刷するコンテンツとしては、後述するよう、商品の使用説明書、カレンダー等、目的に応じて種々のものを採用することが可能である。

梱包部30は、コンテンツ印刷部20によってコンテンツが印刷されたリライタブルペーパーを含むペーパー束を所定の形態に梱包する。

#### 【0024】

このとき、ペーパー束は、コンテンツが印刷されたリライタブルペーパーの印刷内容を外部から視認可能な形態で梱包される。

このような形態としては、種々の場合が考えられるが、例えば、少なくとも印刷面側を透明としたビニル袋によって、ペーパー束を包装することが可能である。

#### 【0025】

そして、梱包部30によって梱包されたペーパー束は、製品として出荷され、店頭に並べられる。なお、このとき、最前部のリライタブルペーパーに印刷されたコンテンツが購入者の目に触れることとなる。

ここで、コンテンツ印刷部20が印刷するコンテンツの例について説明する。

リライタブルペーパーは、商品であるリライタブルペーパーに販売者が印刷を行っても、購入者がそれを消去して使用することが可能なものである。

#### 【0026】

そのため、従来の印刷用紙等を販売する際に別紙に印刷していた内容を、商品

であるリライタブルペーパーに直接印刷することが可能となる。

具体的には、商品の使用方法、商品に関する説明、ユーザの使用所感等が印刷可能である。

このような情報を印刷した場合、使用方法等を印刷した用紙が最終的に不要となり、処分されるといった事態を防止することができるため、省資源化を図ることができる。

#### 【0027】

また、付加的価値を有する情報として、リライタブルペーパーと無関係な商品あるいはリライタブルペーパーの関連商品の広告、漫画や小説の始まり部分等、書籍の一部、占い、クイズ、川柳、料理のレシピ等を印刷することも可能である。

このような情報を印刷した場合、リライタブルペーパーの販売時に、購入者にとって付加的価値の高い情報を商品に含めることができ、購入者の購買意欲をそそることが可能になるとともに、その情報が印刷されたリライタブルペーパーも購入者が使用可能であることから、省資源化を図ることができる。

#### 【0028】

また、漫画や小説の始まり部分を印刷することにより、購入者において、その漫画等の続きを読みたいと言う欲求が沸き、その漫画等を購入することも予想されるため、一種の広告的効果を奏すこととなる。

次に、動作を説明する。

図2は、パッケージングシステム1のパッケージング処理を示すフローチャートである。

#### 【0029】

図2において、パッケージングシステム1が稼動を開始すると、まず、ペーパー供給部10が、貯えているリライタブルペーパーを所定枚数だけ計数し、ペーパー束として排出する（ステップS1）。

すると、搬送機構によって、ペーパー束がコンテンツ印刷部20に搬送される（ステップS2）。

#### 【0030】

次に、コンテンツ印刷部20は、搬送されたペーパー束の最前部にあるリライタブルペーパーの印刷面に、所定のコンテンツを印刷する（ステップS3）。

続いて、コンテンツ印刷部20から梱包部30にペーパー束が搬送される（ステップS4）。

すると、梱包部30は、ペーパー束を所定形態に梱包し（ステップS5）、商品の集積個所に製品となったペーパー束を排出する（ステップS6）。

#### 【0031】

そして、パッケージングシステム1は、ペーパー供給部10に貯えられたリライタブルペーパーを全て処理すると、パッケージング処理を終了する。

パッケージングシステム1によって梱包されたペーパー束は、例えば、図3に示すような形態となり、最前部のリライタブルペーパーに印刷されたコンテンツが外部から視認可能となっている。

#### 【0032】

そのため、店頭に並べられて販売される際に、コンテンツの内容によって宣伝広告機能を奏したり、購入者の購買意欲をそそったり、同種の他の製品との差別化を図ったりするといった効果を期待することができる。

一方、コンテンツが印刷されたリライタブルペーパーは、購入者が印刷されたコンテンツを消去して使用可能であるため、購入者が使用可能なリライタブルペーパーの数が減少することはない。

#### 【0033】

以上のように、本実施の形態に係るパッケージングシステム1は、販売される形態において最前部となるリライタブルペーパーの印刷面に、所定のコンテンツを印刷して梱包する。

そして、購入者がそのリライタブルペーパーを使用する際には、リライタブルペーパーの特長である書き換えによって、自らの目的とする情報を何等支障なく印刷可能である。

#### 【0034】

したがって、リライタブルペーパーを販売する際に販売者が購入者に提示したい情報を、別紙や包装等に印刷して提示する必要がないため、省資源化を図ること

とが可能であるとともに、リライタブルペーパーの特長を活用して、新たな販売形態を提供することが可能である。

なお、本実施の形態に示す様以外にも、リライタブルペーパーの販売における他の形態が実施可能である。

#### 【0035】

例えば、図4に示すように、コンテンツを蓄積したコンテンツサーバ40をパッケージングシステム1にさらに備え、コンテンツサーバ40がコンテンツ印刷部20に対して、印刷するコンテンツを適宜提供することとしてもよい。

このような構成とすることによって、印刷するコンテンツをペーパー束ごとに容易に変更することができ、コンテンツの印刷計画を詳細に設定することが可能となる。

#### 【0036】

さらに、図4に示すシステムにおいて、コンテンツサーバ40と接続された端末装置を備えることとしておき、リライタブルペーパーの販売店あるいは購入者等が、予め印刷されるコンテンツをリクエストできる構成としてもよい。

端末装置からリクエストされたコンテンツを印刷したペーパー束は、リクエストした販売店あるいは購入者に向けて出荷される。

#### 【0037】

販売店がリクエストする場合、その販売店がより大きい販売促進効果を有すると考えるコンテンツが印刷されたペーパー束が納品される。そして、店頭に並べられた場合に、実際、売れ行きがよりよいものになると想われるため、販売店は図4に示すシステムによって梱包されたリライタブルペーパーを購入する動機が高まることとなる。即ち、販売店に納品されるリライタブルペーパーの数が増加することにより、結果として、図4に示すシステムによって梱包されたリライタブルペーパーの販売が促進される。

#### 【0038】

また、購入者がリクエストする場合、購入者自らが要求するコンテンツとリライタブルペーパーとが同時に入手できることから、購入者の購買意欲を掻き立てることができ、直接的に、図4に示すシステムによって梱包されたリライタブル

ペーパーの販売が促進される。

また、本実施の形態において、コンテンツ印刷部20がペーパー束の最前部に位置するリライタブルペーパーにコンテンツを印刷することとして説明したが、コンテンツを印刷する代わりに、印刷済みのリライタブルペーパーをペーパー束の最前部に追加することとしてもよい。

#### 【0039】

即ち、コンテンツ印刷部20の代わりに、コンテンツが印刷されたリライタブルペーパーを貯えておき、梱包時に、ペーパー束の最前部に追加するコンテンツペーパー供給部を備えることとしてもよい。

このような構成とすることにより、パッケージング処理の高速化等の効果が得られる。

#### 【0040】

また、本実施の形態においては、ペーパー束の最前部に位置するリライタブルペーパーについてのみコンテンツの印刷を行うこととして説明したが、最前部以外のリライタブルペーパーにコンテンツを印刷することによっても、本発明の効果を奏することが可能である。

例えば、他のリライタブルペーパーに印刷されているコンテンツの内容を、最前部のリライタブルペーパーに見出しとして印刷しておくことにより、購入者は、コンテンツの内容を認識することができ、予めリライタブルペーパーにコンテンツを印刷して販売することの効果を活用することができる。

#### 【0041】

また、リライタブルペーパーは印刷面（表側面）と裏側面とがあるため、これらを取り違えると印刷できないという特徴がある。

そこで、いずれが表側面であるかを使用者に明確に知らせるため、表側面に「こちらが表です」といったメッセージや、メーカー名等、表側であることを知らせるための情報を印刷しておくことも可能である。

#### 【0042】

さらに、ランダムに選択されたリライタブルペーパーに、「当たり」等、有利な抽選の結果を印刷しておき、そのリライタブルペーパーが含まれるペーパー束

の購入者に対し、一定の特典を与えることも可能である。

また、本実施の形態に示したように、梱包時にコンテンツを印刷する場合の他、販売店が店頭においてコンテンツを印刷することも可能である。

#### 【0043】

この場合、購入時期に正確に適合するコンテンツ（その日の新聞やその月のカレンダー等）を印刷することができ、販売促進効果をより高めることが可能となる。

なお、リライタブルペーパーは、ペーパー束として複数枚をまとめて販売することや、単品をばら売りすることが可能である。

#### 【0044】

単品をばら売りする場合、店頭においてコンテンツを印刷することの利点が、より効果的となる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施の形態に係るパッケージングシステム1の構成を示すブロック図である。

【図2】 パッケージングシステム1のパッケージング処理を示すフローチャートである。

【図3】 最前部のリライタブルペーパーに印刷されたコンテンツが外部から視認可能な梱包形態の例を示す図である。

【図4】 コンテンツを蓄積したコンテンツサーバ40を備えるパッケージングシステム1の例を示す図である。

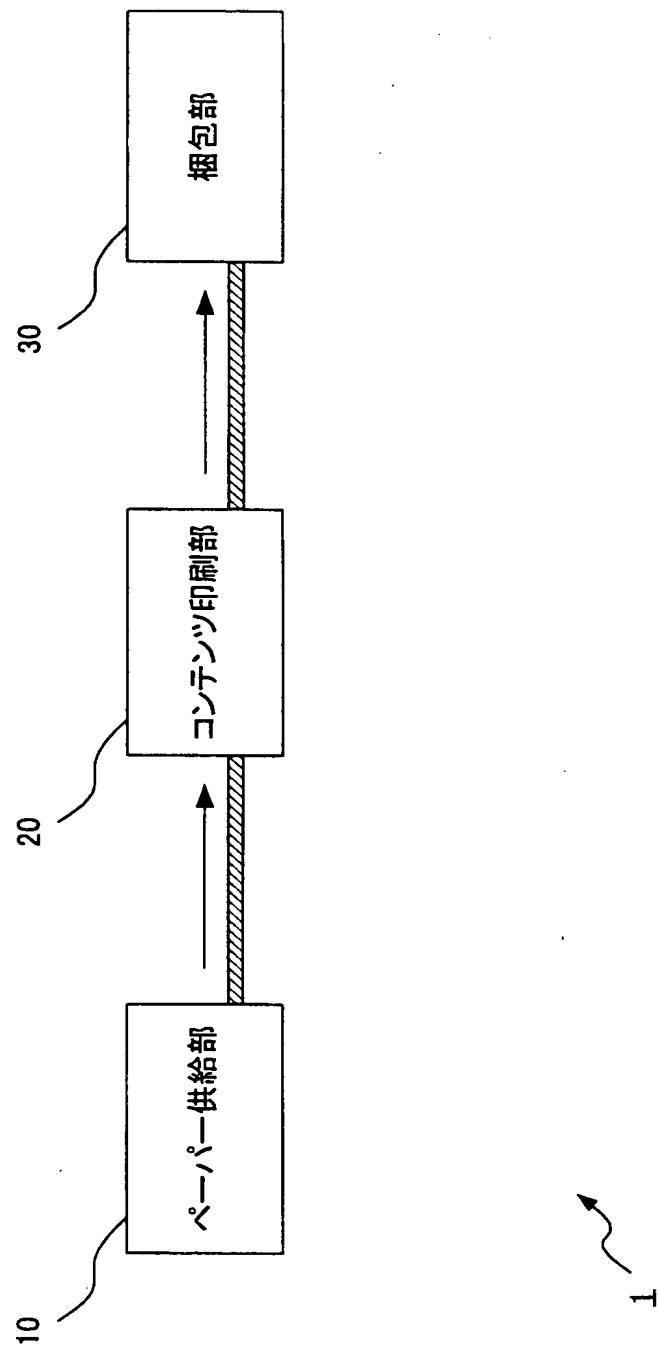
#### 【符号の説明】

1 パッケージングシステム, 10 ペーパー供給部, 20 コンテンツ印刷部, 30 梱包部, 40 コンテンツサーバ

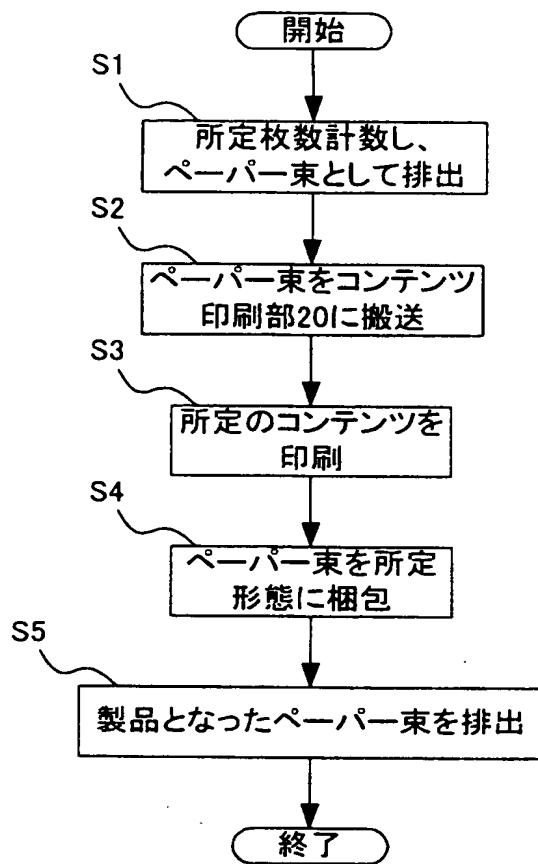
【書類名】

図面

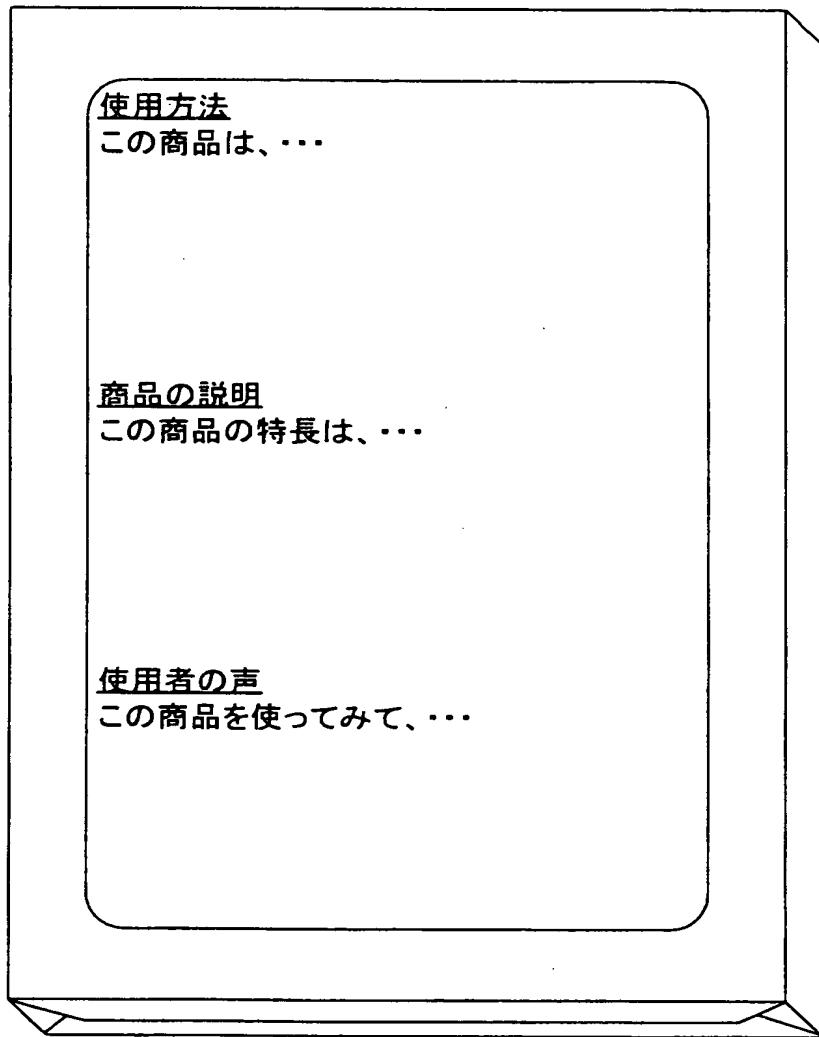
【図 1】



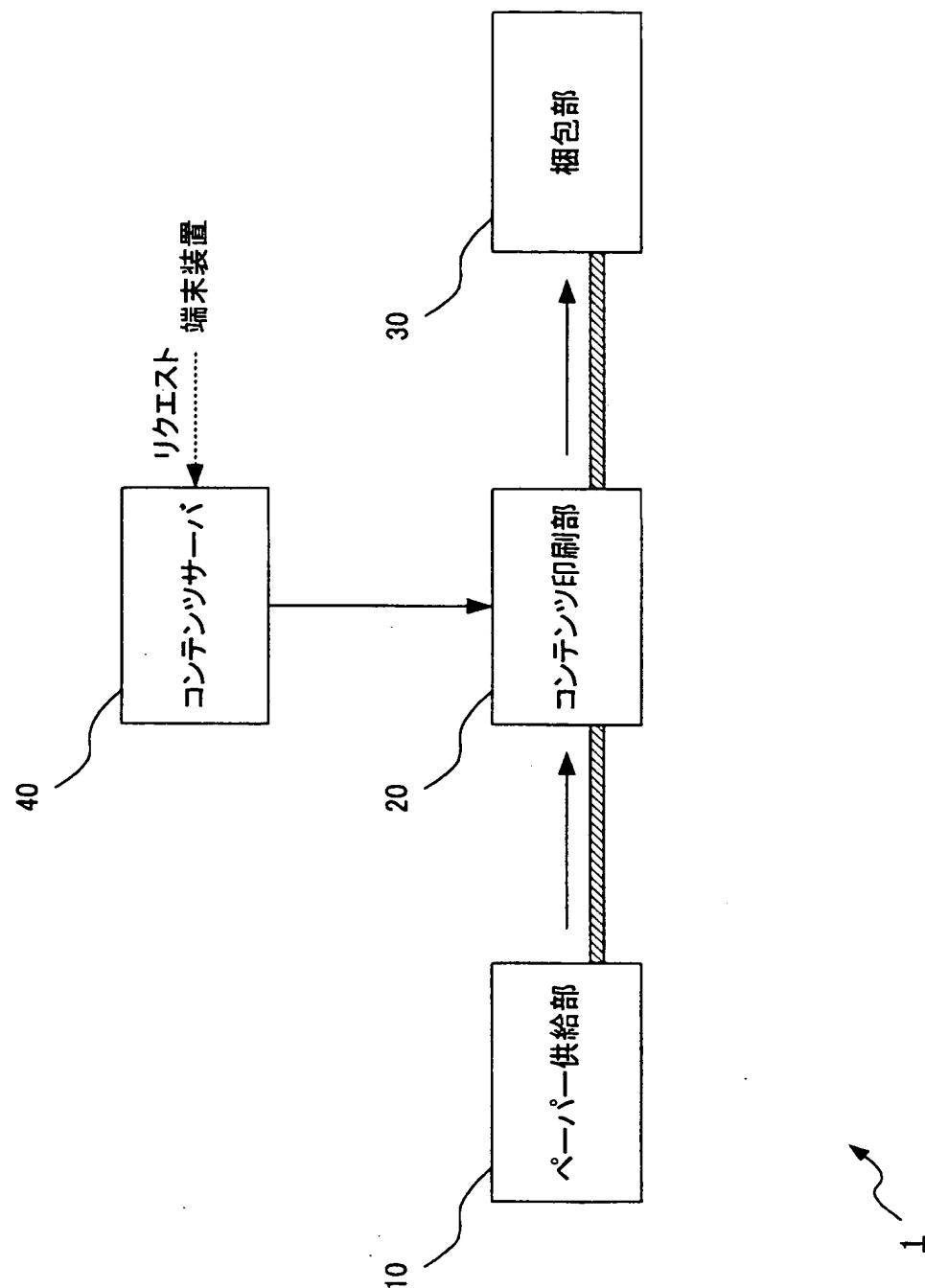
【図2】



【図3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 リライタブルペーパーの販売において、その特長を効果的に活用すること。

【解決手段】 パッケージングシステム1は、販売される形態において最前部となるリライタブルペーパーの印刷面に、所定のコンテンツを印刷して梱包する。そして、購入者がそのリライタブルペーパーを使用する際には、リライタブルペーパーの特長である書き換えによって、自らの目的とする情報を何等支障なく印刷可能である。したがって、リライタブルペーパーを販売する際に販売者が購入者に提示したい情報を、別紙や包装等に印刷して提示する必要がないため、省資源化を図ることが可能であるとともに、リライタブルペーパーの特長を活用して、新たな販売形態を提供することが可能である。

【選択図】 図1

特願 2002-377292

出願人履歴情報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

氏名 セイコーエプソン株式会社